



神 別
A5
6673
74
早稲田大学図書蔵



安永六丁酉



鶴岡連中

歳旦

こぞ一々吉報よ祝
久曾さしく氏祚へ
詣く作して

初春風や清き清きおのつて
文化

山後ちよとむし神鏡
怡夕

孝りお娘と花よふりて
琴雨

其引

門あややうら華あもさくどえ
如翠

生るる人妻のあはれは
赤野女

梅のまじかよ伏着やよ良始
小御女

大黒の笑顔よつとん蔵のり
蘭秀

清きまの作よあはれ
知喬

識る事のいさや文子配
文事

千代居くも老きぬ門や松原
素碩

命よまじくわく一恵字桐
野栄

よ水やまわ顔よふりて
秋和

政と名よ阿しきりし清き水
女白

春日多てぬ糸しと廣しをねま
寧ろ

脈ふ気ちたりしきふし門の松
以民

先むふ急し丸し卵の水
月夕

卵鶏の巻くやうりくさきくし
一芦

まろき女世にけし卵の巻く卵
長松丸

巻しりくし先暗ふ難き丸
素丹

葛葉やうりぬるくとりはしく
羽立

物中のあふりしき多むし卵
英洗

花のうらや明くくし今卵の巻
其淨

未廣よししはきやうり高
栄條

室川やあふし介と下拓子
可常

花きの集りぬしねむ卵
宇梅

むねまわぬしん梅のうら
右静

あしきと多しと多代り集りぬ
龜石

縁をらわきよわたしのつりとも
桂路

りかきの一卵愛しきこの起ん
荷曉

翠やうらよ白くれらる春
眠峨

卵中や柳も風はくふし
永昌

えしのあいくしえくえ日草
峯雪

つぎや実下旅くく枝下妻

二橋

買とらんすけのくく依信

沙亮

美高やたけ松平の門を原

方器

おれやけい軍まぬ声ふと

可交

瀬のきし家おれくくや明の美

風文

汲やとれきくくくぬ水追之

桃序

下戸やぬくくく一尾養の故心

范呂

破方らや孫と自ぬく我張も

其矢

松下牛くくくぬは代の條くぬ

素立

く門とやえれくくのまくく

指月

花名くくくくくくくくくく

寄歌

ゆふくくくくくくくくくく

斗圓

中くくくくくくくくくく

探龍

春と今物外くくくくくく

怡夕

むくくくくくくくくくく

琴西

おんふくくくくくくくく

以涼

新くくくくくくくくくく

二紅

お鶴や声もくくくくくく

九竹

あきくくくくくくくくく

雉石

新くくくくくくくくくく

仙鳥

少ぬくぬ起く顔や午の朝

巴千子 吾介

蓬萊や竹のゆきも年とら

迹左

夕道の海や子左の遊つてり

此竹

子安よ是れはうやみあーと

壺友

くくく歳久くくくもあはに願

松宇

氣もくもくはあかり福壽草

素方

庭しよのあはれしよしよしよ旅のま

文波

修く修くくくくはまはくくく松の色

宇夕

くく道の遊しよの庭しよしよしよ

荷葉

あはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれ

馬明舎

貞吾

